

HON TAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします。

2014年11月号 (第51号)



9 PIECES

今回のテーマは、
「秋の夜長に読みたい！
なが〜い小説！」
です。

伊えの上のおすすめ! 小野不由美 913.6/O-1
『屍鬼』
日本が舞臺の、世間から閉鎖された村で起こるホラー。

のぞみのおすすめ! 森見登美彦 913.6/M
『聖なる怠け者の冒険』
今だかつてない、怠け者の主人公。ここに現る。

メガネ系地味男子のおすすめ! 司馬遼太郎 918.68/S-3
『竜馬がゆく』
誰もが知っている「坂本龍馬」の一生を描いた司馬遼太郎の代表作。

かなぐちのおすすめ! ダレン・シャン作 橋本恵訳 933.7/S-1
『ダレン・シャン』
親友を救うために、半ヴァンパイアになった少年ダレンの物語。

EIのおすすめ! コナン・ドイル著 中野康司・高田寛訳 933/O-13
『最後の事件』
名探偵シャーロック・ホームズと宿敵モリアーティ教授の激闘を描いた物語。

七味のおすすめ! 貴志祐介 913.6/K-1
『新世界より』
人類は呪力と呼ばれる超能力を身につけ、バケネズミを使役し、平和な生活を送っていたが…。

まいのおすすめ! 菅田哲也 913.6/H
『武士道シックスティーン』
剣道に対する考え方が一致しない女子高校生2人の話。

スーモのおすすめ! 綾辻行人 913.6/A
『Another』
「死者はだれー？」クラスに蔓延る謎と恐怖、戦慄の青春ホラー!

あんのおすすめ! 有川浩 913.6/A
『図書館戦争』
全部で4部作!この機会に一気に読んでみては。



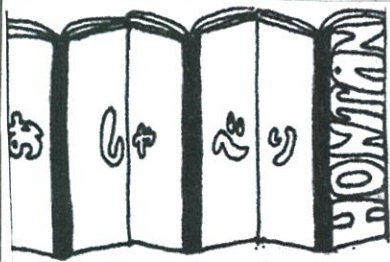
『クリエイター・スピリットとは何か?』 杉山知え 707/S

「日本のデジタルコンテンツは世界が認める文化。環境も需要も、本場だからこそ揃っている。何かを表現したい君、迷わずクリエイターをめざせ!そして最高にぜいたくな生き方をしよう。」

この本は基本的に「クリエイターを目指す」学生に向けて書かれた本ですが内容は「自分が何が好きなのか」「なぜそれが好きなのか」などといったことを考えさせられるものになっています。身近なことから自分の「好き」を見つけて、それを極めることができれば応用もできる。作中で一番印象に残ったのは、学校の勉強をRPGのアイテムに例えていたところです。いつでも自分の「好き」を追求する意識があれば、日常をおもしろくすることは簡単であることに気が付かされました。

タイトルの小難しさや新書ということもあり、堅い内容の本のうように感じますが、学生向けに書かれているので、非常に理解しやすく、おもしろいです。
「自分を知る」ことは、この先の人生で必ず必要になることです。本書は「自分を知る」過程の手助けになってくれるのではないのでしょうか。来年から就職活動がスタートする3年生!ぜひ読んでみてはいかがでしょうか!

<伊え上>



HONTANメンバーが
おしゃべりします。

今回のおしゃべりテーマは、 「自分の好きな作家について」

伊上 いつもレコいっくうい池井戸潤好きをアピールしているの、今回は森見登美彦好きをアピールします。彼の作品には学生が多く出てきますが、その中でも「パッとしたい大学生」の描写がとても共感できて、おもしろいと思います。あと、森見さんの小説は読んだあと自分の日常生活すらおもしろく感じさせてくれるところがすごい。余韻というか、世界観に引き込まれてしばらく帰ってこれません。毎日同じことの繰り返しの大学生活で良い刺激になります。

あん 森見さんの小説の雰囲気って独特で好きな人(はがっつり)はまちこいませよ！わたしが最近好きなのは道尾靉介さんです。人間ってこれいな系シスターが多いですが、『カラスの親指』は人間っていいなと思える話なのでおすすめですよ。

EI 最近シャーロック・ホームズがお気に入りです。テンポ良く進む物語(ほとんど面白く)ホームズの人生観も含め、いつの間にか物語に引き込まれていて、つい読む手が止められなくなってしまいます。好きな作家でいえば、小野不由美さんです。私が初めてハマった長編小説『十二国記』はファンタジーでありながら奥が深くさまさまのことを考えさせられた記憶があります。ふとした瞬間に読み返したくなるものが時々あります。

きい 私は最近、好みの作家さんばかり選んでいるので、これを機に、他の作家さんの

作品も読んでみたいですね。私は本を読んで聞かぬ頃から神永学さんを読んで読んでます。シリーズものが多く、登場人物に愛着がわきやすいですよ。

七味 私はホラー・ミステリーが好きです。普通に生活していると絶対体験できないような世界観にとりこまれて、現実を忘れることができます。乙ーさんが好きですね。静かで綺麗な雰囲気です。別世界に入り込んだ気分になります。特に、『ダイヤログ・イン・ザ・ダーク』がおすすですよ！

のぞみ 私は特定の作家さんに集中して本を読むことがないので、最近読んだ本を紹介します。1つはダニエル・キスの『アレジノン』に花束を主人公が知能を獲得していく様子は痛快でありそして悲しいです。人生で大切なことは何か、ヒントを与えてくれる本です。もう1つは、さくら剛さんの『感じる科学』です。やはり高尚なものとして捉えられがちな科学をわかりやすく解説してくれます！時間のある時にでもどうぞ！



もののけ姫 778.77/M

今回は、わたしが30回は観たであろう映画『もののけ姫』

を紹介したいと思います。山犬に育てられた「もののけ姫」と呼ばれる少女サント、呪いを解くために村を出た少年アシタカとの出会いを描く物語です。宮崎駿監督によるスタジオジブリの映画作品で上映時間は133分。秋のながーい夜にぴったりの長さですね。

何回見ても飽きないのは、色々な要素がストーリーの中に詰まっているからだと思います。人間と自然の問題や、神への信仰や生きることの意味など。そしてアシタカ(はと)にかく真摯で格好良い…。1997年に公開された作品とは思えないほど、映像がきれいなところもおすすめポイントですね。もちろん登場キャラクターもみんな個性的で大好きです。映画を見たあとは、「もののけ達だけん〜よ」とずっと歌ってしまうはず！

<あんこ>



歴史街道 11月号

「歴史街道」は、日本の歴史を中心に様々な角度からとらえ、紹介している雑誌です。11月号では、現在放送しているNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公である黒田官兵衛について特集されている。彼は関ヶ原の戦いで何を思い、何を目指して九州を席巻したのか。他に「軍師」といわれるほどの采配ぶりと石垣原の戦いなど、年号順に紹介されています。

また、「軍師官兵衛」より官兵衛役の岡田准一さんと黒田長政役の松坂桃李さんのインタビュー記事もあり、ドラマへの思いや今後の展開などが語られています。

官兵衛ファンの方にはもちろん、大河ドラマを見ている方や歴史好きには必見の一冊です！

<かなづち>

展示紹介文

帯☆展示

今回の展示テーマは「不思議」です。秋になり、10月31日はハロウィンということで、不思議なお話の本の帯を選んでみました！コメディ要素もある本もあるので、ぜひ足を止めてご覧下さい。

<りゅう>

11月23日は葎労感謝の日ですね。もちろんただの休みではなく、働いている人に感謝をする日です。さて、今回のテーマは「働く」です。すでにお仕事をしている方やまだ先だという方もいるでしょう。ぜひ本を片手に、「働く」ということについて、じっくりと考えてみてはいかがでしょうか。

<鶏>

学生展示☆